# Pythonにトランスパイル可能な 静的型付け言語の開発

早稲田大学先進理工学部 4年

芝山駿介

# 目次

- Background: Pythonについて
- Pythonの欠点
- ・解決策: 新言語の開発
- 新言語のコンセプト
- ・現時点の進捗
- 足りないもの、実装したいもの
- ・想定される疑問

• 質疑応答

# Background: Pythonについて

1991年に発表された汎用プログラミング言語 平易な文法のスクリプト言語であり、可読性が高いと「言われている」

学術計算・機械学習分野のライブラリが充実しており、 近年のAIブームにおいて重要な役割を果たす

しかし、いくつかの設計的問題が......



# Pythonの欠点

### 動的型付け

動的型付けは実行時にコードの正当性を検証するため、バグの発見が遅れる=コード品質に影響する場合がある[1][2]

また、静的型付け言語に比べて実行効率も悪い傾向にある

よって、実行に時間がかかる・大規模なソフトウェアにおいては静的型付け言語 の方が一般に適していると言える

学術計算・機械学習技術はこれに当てはまるが、Pythonが第一言語となってしまっている

<sup>[1]</sup> http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/wp-content/uploads/2016/11/HASE 2017 paper 25.pdf

<sup>[2]</sup> https://danluu.com/empirical-pl/

# Pythonの欠点

#### 歪な文法

Pythonは初心者にもわかりやすい平易な文法と謳われているが、それは極めて表面的な部分だけである

オブジェクトの参照や変数のスコープに非直感的な部分[1]があり、バグの温床となっている

また、Pythonは後付けのオブジェクト指向言語であり近年注目されている関数型プログラミングには向いていない(詳しくは後述)

[1] https://github.com/satwikkansal/wtfpython

```
Python 3.11.0 (main, Oct 24 2022,
Type "help", "copyright", "credits"
>>> a = 256
>>> b = 256
>>> a is b
True
>>> a = 257
>>> b = 257
>>> a is b
```

# Pythonの欠点

開発環境の構築が難しい

Pythonは公式の提供する開発ツールが貧弱であるため、サードパーティの開発 ツールが乱立している

仮想環境: venv, pyenv, pyenv-virtualenv, pipenv, Anaconda

フォーマッタ: black, autopep8, yapf, autoflake

パッケージマネージャ: pip, poetry, pipenv, Anaconda

Linter: flake8, pylint, Prospector, ruff

→ 有名所だけでも320パターンの中から選定する必要がある他人のコードを動かす場合...

# では、解決策はあるか?

# 一 Pythonの欠点を克服した新言語を作る

# PythonのAPIを直接呼び出せる(トランスパイルされる)

先述のような欠点があるにもかかわらず Pythonが人気なのは、圧倒的な量の コード資産があるという点が大きい



このような既存言語の資産を流用できる言語は ScalaやTypeScriptなどがある





### 高度な静的型システムを持つ

静的型付けは実行効率のみのためにあらず 型システムはコードの堅牢性を高めてくれる

新言語は依存型と呼ばれる高度な型を持つ これを用いると例えば配列の境界チェックなどを コンパイル時にも検査できる

#### 型推論機能を持つ

型推論とは変数や関数の型を指定せずとも自動で推論してくれる機能

動的型付けのようなシンプルな記述 でありながら検査はしっかりと行われている

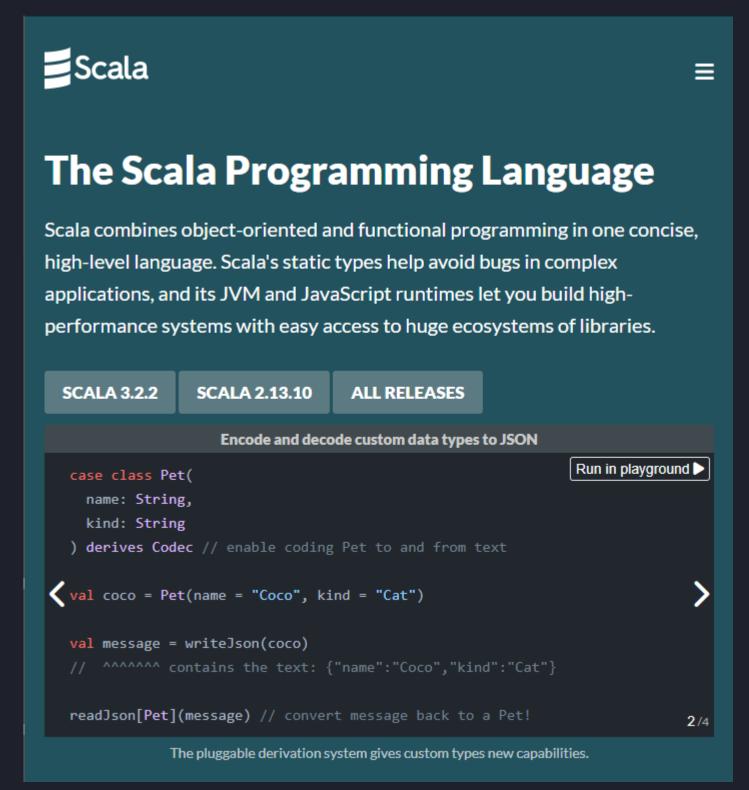
関数型+オブジェクト指向

オブジェクト指向(Object-oriented)はPythonや Javaなど多くの言語が採用するパラダイム

しかし近年は、より数学的で形式的な取り扱いが容易な関数型(Functional)プログラミングが注目されている

両者は組み合わせることも可能であり、 そのようなアプローチを取る言語もある (e.g. Scala)

提案する言語もこのアプローチでいく



Source: https://scala-lang.org

#### 開発ソールの統合

仮想環境マネージャ、フォーマッタ、 パッケージマネージャ、linterなどを すべてコマンドひとつに統合

このようなアプローチは**Go**言語などが採用 環境構築が容易になり、 高い再現性も保証される

```
at 21:54:34 ) go
Go is a tool for managing Go source code.
Usage:
       go <command> [arguments]
The commands are:
                    start a bug report
       bug
                    compile packages and dependencies
       build
       clean
                    remove object files and cached files
       doc
                    show documentation for package or symbol
                    print Go environment information
        env
       fix
                    update packages to use new APIs
       fmt
                    gofmt (reformat) package sources
                    generate Go files by processing source
       generate
                    add dependencies to current module and install them
       get
       install
                    compile and install packages and dependencies
       list
                    list packages or modules
                    module maintenance
       mod
       work
                    workspace maintenance
       run
                    compile and run Go program
       test
                    test packages
       tool
                    run specified go tool
       version
                    print Go version
                    report likely mistakes in packages
       vet
```

~ via △ v3.23.2 via ♥ v3.11.0

# 現時点の進捗

☑文法の策定

文法は大筋で策定済み 詳細な仕様が公開されている

https://erg-lang.org/the-erg-book



#### **Basics**

**Warning**: This document is incomplete. It has not been proofread (style, correct links, mistranslation, etc.). Also, Erg's syntax may be change destructively during version 0.\*, and the documentation may not have been updated accordingly. Please be aware of this beforehand. If you find any errors in this document, please report then to here form or GitHub repo. We would appreciate your suggestions.

Erg Book 日本語訳

Erg Book 繁體中文翻譯

Erg Book 简体中文翻译

This document describes the basic syntax of Erg. If you already have experience with languages such as Python, please refer to the quick tour for an overview. There is also standard API docs, type definition and internal docs for contributors. If you need a detailed explanation of the syntax or Erg's internal architecture, please refer to those documents.

#### Hello, World!

First, let's do "Hello World".

```
print!("Hello, World!")
```



This is almost identical to Python and other languages in the same family. The most striking feature is the !, the meaning of which will be explained later. In Erg, parentheses () can be omitted unless there is some confusion in interpretation. The omission of parentheses is similar to Ruby, but it is not possible to omit parentheses that can be interpreted in more than one way.

```
print! "Hello, World!" # OK
print! "Hello,", "World!" # OK
print!() # OK
print! # OK, but this does not mean to call, simply to get `print!` as a callable object
```

# 現時点の進捗

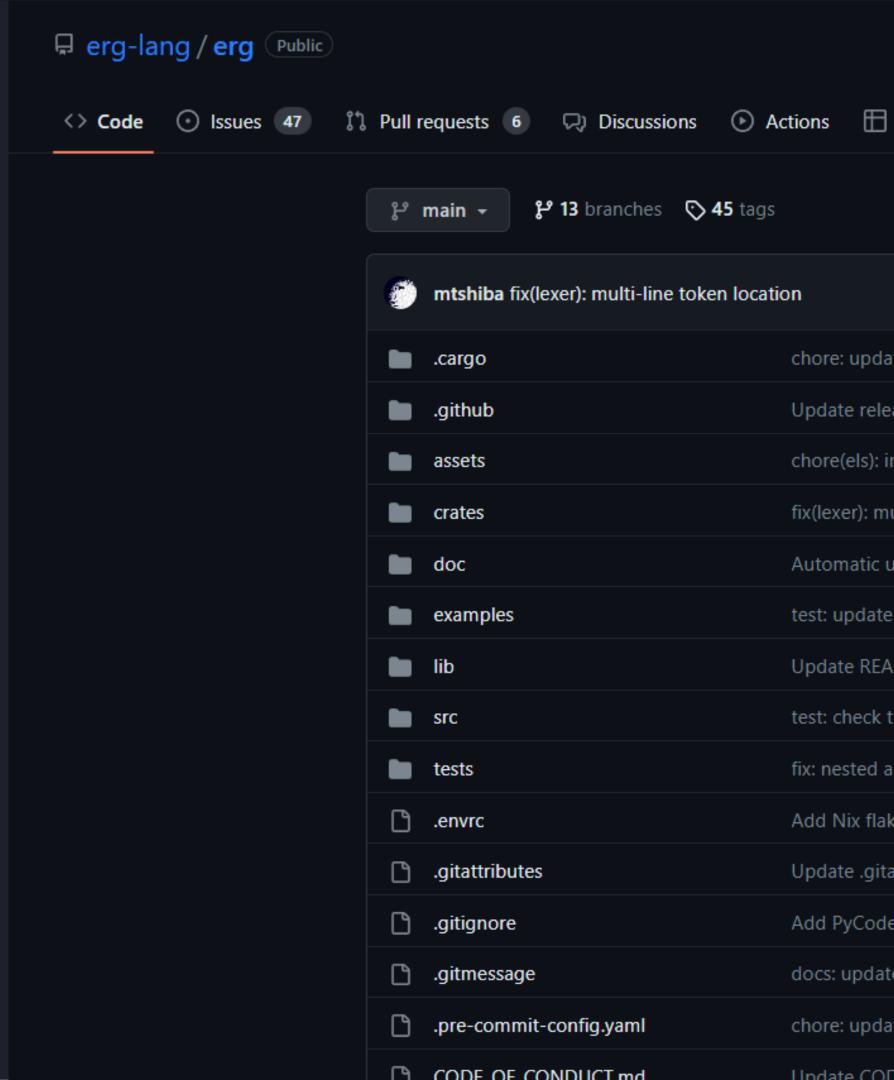
☑プロトタイプの開発・公開

https://github.com/erg-lang/erg

**2022**年8月に**GitHub**上で公開

Rustを用いて開発

関数やクラスなど基本的な構文は実装済み



# 現時点の進捗

☑プレイグラウンドの開発・公開

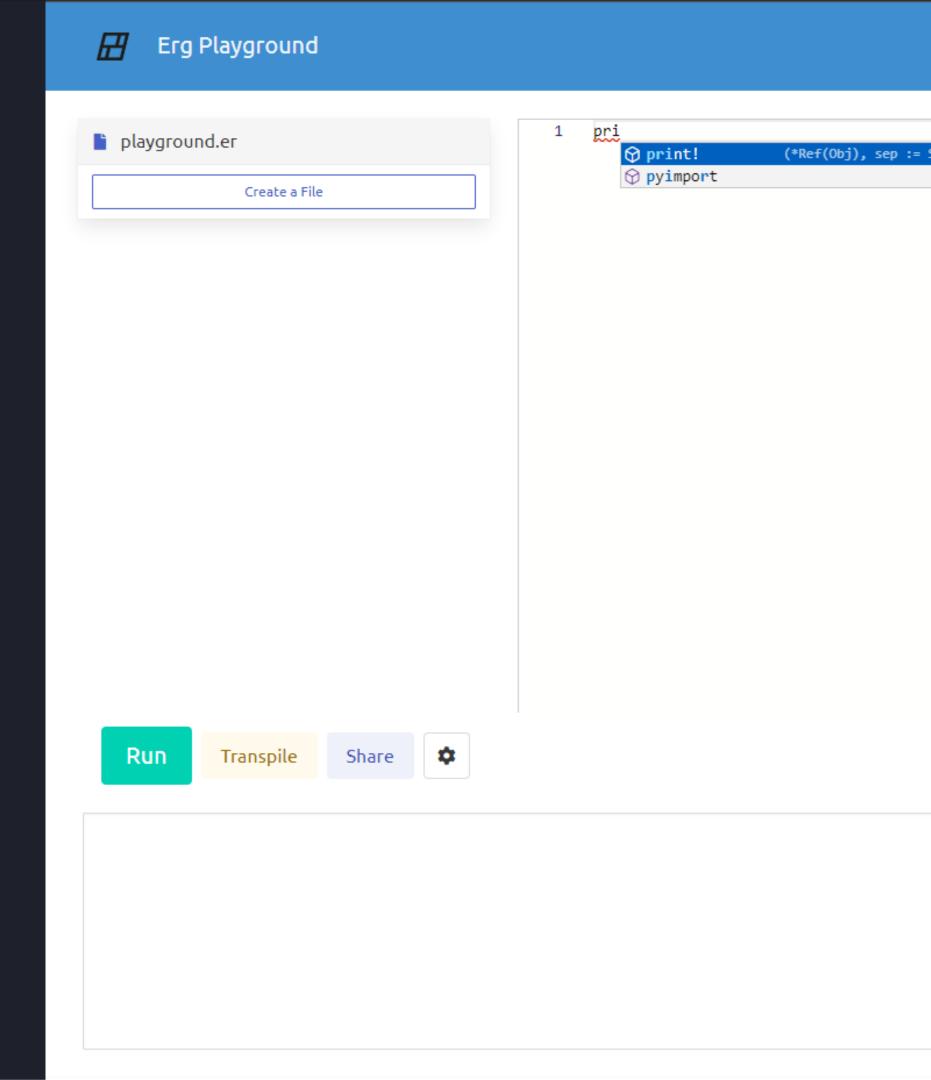
https://erg-lang.org/web-ide

最新版のErgをインストールせずにWeb上で試せる

WebAssemblyというブラウザ上で実行

できる低級言語にコンパイルされ、

ローカルで動作する



# 現状足りないもの

### 無数の言語機能

- Python APIの完全な型付け(現在3割程度)
- ・ ユーザ定義多相型(単相型は実装済み)
- ・ コンパイル時計算(現在は簡単な四則演算程度)
- 高度な可変データ型

Etc.

# 現状足りないもの

ネイティブコードバックエンド

せっかく静的解析を行うのだからネイティブコードへコンパイルしたい Pythonの懸案であった実行性能問題も解決できる (Pythonスクリプト自体を高速化するわけではない)

インタプリタとバイナリでデータの受け渡しが必要だが、 そのようなバインディングライブラリは先例あり(Rust ⇔ Python) <a href="https://github.com/PyO3/pyo3">https://github.com/PyO3/pyo3</a>

しかしRustとPythonは全く別の言語であるため、ライブラリを用いても些か煩雑 同一のAPIと類似の意味論を持つコンパイル言語がほしい

→ないので、つくる

# 現状足りないもの

開発ツール群

パッケージマネージャとフォーマッタは最低限ほしいところ Linter、仮想環境マネージャも用意したい

できれば新言語自身を用いて実装したい

→実用性の証左になる

# 以上を、未踏期間中に実装する予定

# 想定される疑問

Q: Pythonの上位互換言語を作る?

A:

No

先述したようにPythonの文法には根本的問題があるため、 必ずしも文法の互換性には拘らない

APIについても、exec関数など静的解析を阻害するものは排除するこれらの使用は現在ではバッドプラクティスとされているため排除してもそこまで問題はない

# 想定される疑問

Q: Pythonにも型指定の文法はあるが?

A:

型推論できるかが重要 いちいち型指定しなくてはならないのなら、 他の静的型付け言語を使ったほうが良い

さらに

- \*型指定しても速度が向上する訳では無い
- \*型が間違っていても実行自体はできてしまうなどの問題がある

# 想定される疑問

Q: Pythonの些細なミスは 所謂AIによる修正で十分になっていくのでは?

A:

現在のLLMの課題:複雑な計算などを正確にエミュレートできない

計算部は専用ソフトウェアに移譲させ、専用ソフトウェアの出力をフィードバックしてコードを改善させるなどのアイデアがある[1]

すると正確な静的解析を出すソフトウェアは不要になるどころかより重要になっていく!

[1] https://github.com/biobootloader/wolverine

提案者 芝山駿介 発表日

2023/4/15